


市民の移動データを活用したMaaS高度化事業

地域公共交通の利便性を向上させるために、これまでから継続して「MaaS推進」と「交通網の最適化」の両輪で取り組む。本事業ではパーソントリップ調査の結果等を基に市民の移動実態を明らかにし、真のニーズに合った交通網を検討する。また、昨年度より実施している交通データ分析について、GunMaaSにより取得できるデータ等が分析可能となるよう高度化を行う。

<p>協議会の 構成員</p>	<p>【幹事(事務局)】前橋市 株式会社NTTデータ、一般社団法人群馬県バス協会、東日本旅客鉄道株式会社</p>		<p style="text-align: center;">事業イメージ</p> 
<p>地域 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の維持のための市の財政負担の増加 ● 免許非所有者の低い外出率 ● 通勤・通学における公共交通利用割合の低さ ● 中高生の交通事故の多さ ● 地域と対応を協議する上でのエビデンス不足 		
<p>事業 概要</p>	<p>サービス 開始時期</p>	<p>令和6年1月頃（サービス提供開始時期）</p>	<p style="text-align: center;">本事業</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民のニーズに合わせて地域の交通網を最適化することにより、MaaSをより地域に定着させる ● 自家用車や自転車での移動から公共交通への転換を促し、事故の少ない安全な移動環境を目指す <p>取組み 1 市民の移動データの可視化</p>  <p>取組み 2 交通データ分析の高度化</p> 
<p>事業エリア</p>	<p>群馬県前橋市全域 および隣接地域</p>		
<p>MaaS システム</p>	<p>JR東日本が提供するMaaSプラットフォーム「モビリティ・リングージ・プラットフォーム」を活用し「GunMaaS(グンマース)」としてwebサービスを提供。(MaaSを群馬県下に拡大)</p>		
<p>交通 サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● パーソントリップデータ等から市民の移動実態を可視化し交通網の再編や交通安全施策を検討できる環境の実装 ● 既に開始している交通データ分析の高度化 ※以下の取り組みはGunMaaSとして実施 ● オープンデータを活用したリアルタイム経路検索の提供（バスロケ・シェアサイクル・デマンド交通等） ● デマンド交通の予約を一元化 ● デジタルフリーパスの販売 ● 市民認証による前橋市民割引等、属性に応じた割引サービスの提供（マイナンバーカード認証基盤と連携） 		
<p>交通以外 のサービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業を通して、すでに他分野連携を行っているGunMaaSで“どの分野との連携をより強化すべきか”を明らかにする（例：通院・通学環境の整備、関連機関との連携等） ※以下の取り組みはGunMaaSとして実施 ● 地域の観光施設や飲食店の検索機能の提供 ● 路線バスのデジタルフリーパス購入者への店舗等特典付与 		
<p>事業 目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の移動実態、真のニーズに合った交通網の実現 ● 属性に応じたきめ細やかなサービスの実現 ● 事故の少ない安心安全な移動環境の整備 		<p style="text-align: center;">評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バス路線再編の検討対象路線数 3路線 ● 重点的に公共交通転換に取り組むべきエリアの特定 3エリア ● 各種会議体における検討根拠データの提示に対する参加者満足度 70% ● 分析結果をもとに議論する交通事業者数 6事業者 ● MaaSにおいて連携を強化すべき他分野の特定 2分野 ● 前橋市における公共交通利便増進に向けた新たな施策検討数 2施策
<p style="text-align: center;">今後の方向性</p>			<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の移動実態やニーズに即した公共交通そのものの再編、継続的な改善 ● GunMaaSの取組みにより蓄積される移動データのさらなる利活用（属性や券種等を踏まえたきめ細やかな分析） ● 移動データ等の取得・連携・利活用の手法を確立し群馬県や県下の自治体に展開 ● バス以外の交通モードも併せた、GunMaaS全体としてのサブスクリプションサービス・乗り継ぎ施策・他分野連携の実現